

事業所	徒歩圏の職員	参集把握区分			職員	徒歩圏内で 参集可能人数
		○ (可能) 3以下	△ (不確定) 4～5以下	× (不可能) 6以上		
MORE	6	19	5	1	25	5
いつきの里グループ/いつきの里	16	46	10	1	57	16
いつきの里グループ/いつきホームズ	5	19	6	1	26	5
ウィズ	3	16	4	1	21	2
くるみ園グループ/くるみ園	6	15	5	1	21	5
みらい・きらきらキッズ	3	9	4	0	13	3
ラ・ルーチェ	2	11	3	1	15	1
松山市障がい者北部地域相談支援センター	3	3	3	0	6	2
松山福祉園グループ/きずなホームズ	3	7	1	0	8	3
松山福祉園グループ/松山福祉園	5	27	9	2	38	2
地域生活者支援室/のぞみホームズ	13	41	5	1	47	13
地域生活者支援室/ホームヘルプサービス	3	10	7	0	17	3
地域生活者支援室/指定相談支援事業所	1	4	1	0	5	1
福角保育園	3	13	8	1	22	3
法人本部事務局	2	10	6	0	16	2
堀江保育園	3	19	2	0	21	3
計	77	269	79	10	358	69
	21.51%	75.14%				19.27%

令和6年4月1日現在における職員の参集把握調査をいたしました。

今年度は職員358名のうち75.14%（269名）が参集可能職員であることが分かりました。

また、福角会への徒歩圏内の職員は77名で全体の21.51%、徒歩圏内で参集可能な人数は69名(19.27%)の職員となります。

大規模災害等においては初動対応が重要であり、いち早く職員の参集が必要と考えます。交通寸断が予想される状況においては、とりわけ徒歩圏内の職員の参集が重要となりますが、初動対応における参集可能人数は法人職員の19.27%の職員しか確保できないということとなります。BCP発動後、忽ちはこの参集可能職員で対応が可能かこと等を検討・準備しておく必要があります。

また令和5年度より参集可能者数が大幅に増えております(令和5年度比156名増(43.13%増)が、「徒歩圏内で参集可能人数」については大きな変化はありません(令和5年度比112名増(3.12%増)。災害状況によっては、職員の参集や対応に影響があることも考えられます。

この現状を認識いただきまして、今後、危機管理委員会においてBCP発動後の初動対応の検討をしていきたいと考えています。

項目 \ 点数	0	1	2	3	4
通勤手段	自転車・徒歩・バイク	車・バス・電車			
通勤時間	10分未満	10分以上30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上	
同居家族について (小学生以下)	0	1人	2人	3人	
同居家族について (高齢者(75歳以上))	0	1人	2人	3人	4人
自宅の建物の建築年	昭和57年(1982年)以降	昭和56年(1981年)以前			

※参集調査点数算出方法について

職員の通勤手段・時間、同居家族状況(小学生以下、高齢者(75歳以上)又は障害者の人数)、自宅建物の建築年を点数化し、合計点数が少ない職員について、参集が可能であると想定している。

合計点数「0～3」について参集可能、「4～5」不確定、「6以上」参集不可としている。

また、徒歩圏内で参集可能人数については、徒歩圏内で且つ合計点数が0～3の職員人数となっている。